

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公開番号】特開 2000-267533 (P2000-267533A)
【公開日】平成 12 年 9 月 29 日 (2000.9.29)
【出願番号】特願 平 11-71956
【国際特許分類第 7 版】
G 0 3 G 21/10
【F I】
G 0 3 G 21/00 3 1 2

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 3 月 24 日 (2004.3.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 6】

このような技術的課題は、中間転写型の画像形成装置に限られるものではなく、中間転写ベルトなどを用いない各種態様の画像形成装置についても同様に生じ得る。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 1 9】

ここで、本実施の形態で用いられる中間転写ベルト 30 の張架ロール 31 ~ 36 について述べると、符号 31 は一次転写ロール 26 による一次転写部位の上流側近傍に設けられる駆動ロール、32 は一次転写部位における中間転写ベルト 30 の姿勢を所定の姿勢に保つために、前記駆動ロール 31 及び一次転写ロール 26 の延長線上に配設される従動ロール（姿勢保持ロール）、33 は従動ロール 32 の下流側に設けられて中間転写ベルト 30 に所定の張力を付与するテンションロール、34, 35 はテンションロール 33 の更に下流側に配設される従動ロール、36 は後述する二次転写装置 40 の一要素である対向ロール（バックアップロール）である。

尚、符号 39 は駆動ロール 31 の周面を清掃するためのロールクリーナであり、駆動ロール 31 表面の汚れに伴う中間転写ベルト 30 の搬送むらをなくすものである。